事 業 報 告 書

1 支援団体名	NPO法人　南畑ダム貯水する会
2 事業名称	第5回シンポジウム「雨から川へ、水のつどい」とフィールドワークショップ
3 実施日時	①玄界島フィールドワークショップ　08.6.15～26 ②シンポジウム「雨から川へ、水のつどい」 08.11.15
4 実施場所	①玄界島フィールドワークショップ 福岡市ボランティアセンターあすみん、玄界島にて ②シンポジウム「雨から川へ、水のつどい」 九州大学西新プラザ（旧称；九州大学国際研究交流プラザ）
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容） （1）　事業の目的：渇水や都市水害の原因の本質である地域の水循環の悪化と、わたし達の暮らしとのかかわりについてさまざまな立場の人が理解し、みんなが協力してよりよい水循環の再生とともに暮らしていくための啓発を行うこと。 （2）　事業の内容：よい水循環、総合治水、よい川のシンポジウム開催 ①玄界島フィールドワークショップ ②第5回「雨から川へ、水のつどい」―　みんなで、　水のつながりを考える　―
	（事業実施効果） ①玄界島の水循環、住民へのアンケート調査、分権調査の結果などは、シンポジウムの大きなテーマとなっただけではなく、玄界島の方々が自己水源を確保するための、「玄界島雨水支援基金」運動へとつながり始めている。 ②ディスカッションの部では、まちづくりと雨水利用とが連動することの大切さが共有されることができた。 来年の、雨水ネットワーク会議全国大会 in 福岡、ため池・疎水シンポジウム in 北部九州の開催予定が宣言され、みんなでこれから、いっそう「雨が降り、川へ流れるまで」のことを考え、行動する意志を共有した。
6 参加内訳	総人数　130名
	(1)主催者参加　30名
	(2)日本人参加((1)を除く)　100名
	(3)外国人参加((1)を除く)　名
7 今後の方針	今後は、福岡市と協力し、いかに玄界島水支援を行うか？を島の人たちとともにワークショップを行うことで進めていく。 来年は、雨水ネットワーク会議全国大会 in 福岡が予定されている。いっそう九州・福岡で雨水利用と自然な水循環の再生に対しての啓発を進めたい。

シンポジウム基調講演

シンポジウム報告①

シンポジウム報告②

ディスカッション

フィールドワーク

フィールドワーク